



一 学校の沿革

当別高校は昭和二十四年三月一日、北海道江別高等学校分校として創立され、定時制課程普通科一間口を当別小学校へ設置したことに始まりました。昭和四一年四月一日、定時制課程普通科を農業科に転換。平成三年四月一日にはコース制を導入し、定時制農業科に園芸科学コースと食品流通コースとなりました。平成一九年には定時制から全日制に移行し、平成二〇年には園芸デザイン科が誕生しました。

校訓の「誠実」は、思いやりとまじめをもつてもの」とをなし遂げる」とであり、自己の誤謬と虚偽を否定し、「まかしのない真実を求める人間の主体的良心のことです。この校訓の下、「敬愛・努力・実践」の学校教育目標と、尊敬心および創造力、積極性および探究力、協

調性および課題解決力の六つの「即高力」の育成を掲げています。

二 当別町について

本校のある当別町はヨーロッパを思わせる北海道らしい田園風景が広がり、手つかずの大 自然に囲まれています。その一方で、大都市・札幌を取り巻く充実した都市機能にも恵まれた環境を持つ町でした。



す。さうに国内では珍しくスウェーデンのレクサンド市と姉妹都市となっており、盛んに交流が行なわれています。

三 特色ある学習内容



当別高校は園芸デザイン科以外に普通科と家政科、三つの学科が一クラスずつあり、現在全校生徒で一七六名。その中で園芸デザイン科は一六名と少ない人数

です。石狩管内公立高校で唯一農業を学べる学科であり、地域との連携を活かし、水稻、畑作、野菜、花卉等の農業の基本を学ぶことができます。

(一) 高校生花いけバトル

全国大会出場

五分間で花材を選び、壺に花をいける競技で、その完成度とパフォーマンスを競います。

大会の北海道予選は、花フェスタ札幌などで開催されていて、令和四年度は岐

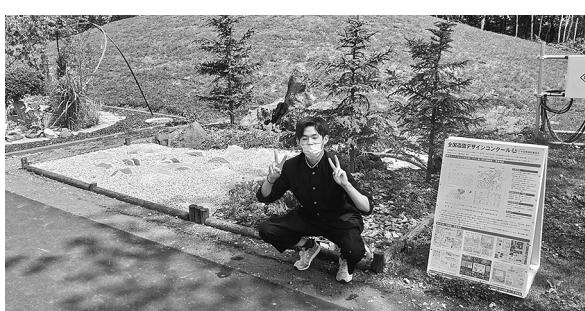


阜県で行われた全国大会に選抜チームとして出場しました。入賞はできませんでしたが、北海道を代表してその名を轟かせました。

(二) 全国造園デザインコンクール

「みどりの広場」プラン賞

全国造園デザインコンクールに挑戦を続け、令和三年度に「みどりの広場」プ



ラン賞を受賞、令和四年度に恵庭市で開催された「緑化フェア」では、実際にその団面の庭がプロの造園家の手で作庭され、来場した多くの方に見ていただきました。



(三) 園児田植え体験会

町内の園児を招いて田植えの体験会を実施。園児と私たちは裸足で田んぼに入り、一緒に田植えに挑戦。秋には稻刈り

体験も行われ、園児も自分達で収穫した新米を楽しみました。

(四) 花フェスタに参加

花フェスタ札幌で開催される「北海道農業高校生ガーデニングコンテスト」に毎年参加しています。春先から準備、デザインして作品を作り上げます。園芸デザイン科として提案をテーマに斬新な作品に挑戦しています。



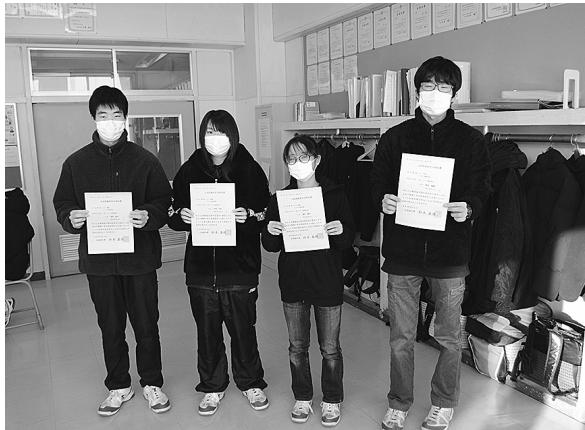
(五) ドローン講習会

当別町役場に協力していただき、夏季休業中にドローンの操作を体験する講習会を行っています。初めての体験ですが、緊張しながらも必死に取り組み、楽しみながら講習を体験しました。



(六) 国家検定「造園技能・

フラワー装飾」三級に挑戦



コース別に造園技能検定三級、フラワー装飾技能検定三級に挑戦しています。夏季休業中に行われるため、休み返上で取り組んでいます。令和四年度フラワー装飾技能検定では全員合格するという新たな伝統を作ることができました。

(七) さんフュア「フラワー・アレンジメントコンテスト」に参加



さんフュアフラワー・アレンジメントコンテストには、コロナで中止になった年もありましたが、五年続けて本校生徒が出席しています。特に令和四年度には出場した生徒が六〇名中ベスト10に入り、審査員奨励賞を受賞、生徒は自信をつけたことができました。

(八) ホテルライフォート札幌 前庭花壇造成



本校の学校教育活動の一環として、公立学校共済組合の宿泊施設であるホテルライフォート札幌の敷地内（前庭）で花壇造成の実習活動を実施、園芸実習を通して情報収集、発信などを行う機会を作ると同時に当別高等学校と札幌の宿泊施

設が地域住民はもじり、来道者に楽しんでもらえるよう社会貢献を行う機会を作っています。

(九) 新規就農を目指す

本校では近年、園芸デザイン科を卒業し一年間、タキイ研究農場附属園芸専門学校で学び、現在新規就農を目指して取り組んでいます。

石狩管内のなかでも冬の季節は最も厳しいこともあります。現在は九割の生徒たちが札幌から通学しています。生徒たちにとって当別町が「心のふるねさん」と感じ、愛してくれることを願っています。北海道教育が目指す基本理念は、自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む「自立」と、ふるさとに誇りと愛着を持ち、これから社会に貢献し、共に支え合う人を育む「共生」を掲げています。

執筆・写真提供は、高橋寿幸教諭に
担当いただきました。



選択肢に農業経営があることを実証してくれています。その卒業生は現在、水稻を中心将来は野菜の生産にも携わりたいと頑張っています。

緑豊かな「心のふ

おわりに



るれど」当別町を舞台に、地域との連携を最大限活用し、当別高校で学ぶことを選択してくれた生徒たち一人一人の成長のため、我々教職員も生徒に深い愛情を注ぎ込みながら日々ともに成長していくたいと思っています。